

4月の進級・入園のときから、私達は「子ども自身が自分で身を守ることができるようになってほしい」と願い、日常生活の中で年齢に見合った具体的な方法を子どもとともに考えながら生活してまいりました。

また、パートナーである保護者の皆様にも、園だより、ホームページ等で様々な情報をお伝えし、関係者全員で『安全』の意識を高めてきたところです。とりわけ今年度は、先に発生した地震により、“命の尊さ”を改めて実感する日々となりました。災害は、いつ、どこで起きるか分かりません。今回の経験を基に防災マニュアル等を再度見直し、今後も常に状況に応じた具体的な対応を意識しながら生活してまいりたいと思っています。

明日から園は夏休みに入ります。暑い時季ですが、“夏ならではの体験”が、親子でたくさんできる貴重な期間です。ご家族お揃いで、安全で楽しい思い出に残る夏休みをお過ごしください。

大切なお子様をご家庭にお返しするにあたり、『命を守ること』(車・水・暑さ等の事故に遭わないようにするためには、具体的にどのような自己防衛ができるのか)についての留意点を下記に記載しています。ご存知のこととは思いますが、大切な子どもの命を守るためにご家族全員でご確認ください。

なお、連日の暑さと目に見えない蓄積された疲れ等も重なって、感染症も出ています。体調が悪いときには一日ゆっくりと休むことで早期回復に繋がります。夏休み中登園される場合も、お子様の朝の様子を十分診ていただき、くれぐれもご無理をなさいませんようお願いいたします。



英語でのフルーツバスケットも楽しいね。(年中組)



夏ならではのプール・海での遊びは、安全に楽しく！



ありがたい気持ちを込めて掃除をしました。

【車から守る】

<子ども> と まります



ま ちます

と びだしません

<大人>

- ★子どもから絶対に目を離さない。
- ★道路では、子どもの手をしっかりと握り、大人が歩道側を歩く。
- ★外出の際は、必ずチャイルドシートやジュニアシートを正しく使う。

【大切な子どもの命を守りましょう】

【水から守る】

<子ども>

- ・おうちのひとといっしょにあそぶ。
- ・かってなことをしない。

<大人>

- ★浅くても油断しない。
- ★子どもから絶対に目を離さない。

【暑さから守る】

～熱中症対策～

<子ども>

- ・そとにいくときにはぼうしをかぶる。
- ・みずをのみながらあそぶ。
- ・からだをやすめる。(おひるね)

<大人>

- ★生活のリズムを崩さない。
- ★汗を掻く機会も設ける。(エアコンを上手に使いましょう)
- ★ベビーカーの乳幼児も要注意。

◎夏休み中も、規則正しい生活を心がけましょう

夏休みの生活につきましては、「生活面」、「安全面」での留意事項について、お子様が分るような具体的な事例をあげて話していただきたいと思います。その際、“なぜそうするのか”も忘れないようにお伝えください。

基本的な生活習慣は「生きる力」の基礎です。とりわけ不規則になりがちな夏休み中の“睡眠”に関しては質のよい眠りを子ども達に保証してあげましょう。(裏面に熊本市からのマップを載せています。ご覧ください。)